

令和8年3月10日

厚生労働省 「全世代向けモデル歯科健康診査等実施事業」成果報告会

# 2歳児歯科健診を活用した 保護者への簡易スクリーニングの実施

東京都町田市 保健所 保健予防課 歯科保健係

田中 智香



# 町田市の概要



人口	43万428人
世帯数	21万593
面積	71.55km <sup>2</sup>
高齢者人口	11万7936人
高齢化率	27.4%

(2026年1月1日現在)

## 町田市の特徴

- ・都内では多摩地区26市の中で八王子市に次いで2番目に人口が多い
- ・新宿・渋谷・横浜といった都心へのアクセスが良い
- ・駅前には商業施設が充実している一方、緑豊かな公園も多く点在しており、自然にも触れあうことができる「都会と自然のバランスがちょうどいい」
- ・市内に大学が9つ、専門学校が8つあり、学生が多い



# これまでの取組

	妊娠期	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	高齢期
健診事業、相談事業、健康教育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親学級</li> <li>・妊婦歯科健診（個別・委託方式）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児歯科健康診査（1歳6か月・2歳・3歳）（集団）</li> <li>・乳幼児・母性相談</li> <li>・園児むし歯予防教室</li> <li>・離乳食講習会</li> <li>・子育て広場・育児講座</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校歯科保健指導（小学校、中学校）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科口腔健康診査（18歳～70歳）（個別・委託方式）</li> <li>・障がい者歯科保健指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者歯科口腔機能健診（71歳以上）（個別・委託方式）</li> <li>・健康教育講座（オーラルフレイル予防）</li> <li>・「まちだ お口を元気にする トレーニング ロトレ」啓発</li> </ul>
普及啓発	各種イベントでのブース出展、市内図書館とのコラボ、民間と連携したデジタルサイネージの掲載、SNSを活用した記事配信、等					

- 【現状】
- ・歯科口腔健康診査・・・特に若い世代での受診者数が少ない
  - ・成人期（若い世代、就労世代）へのアプローチが不足している



【課題】 歯科疾患の早期発見、早期治療につなげるため、受診への動機づけとなるような取り組みが必要

# モデル事業の概要

## 「2歳児歯科健診を活用した保護者への簡易スクリーニング」

対象	2歳児歯科健診に来所された保護者
対象者数	527名（案内送付）
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・サリバスターを用いた歯周病の簡易スクリーニング検査の実施</li><li>・歯科保健指導および定期的な歯科健診への受診勧奨</li></ul>
日程	2025年10月 6日、20日、27日、31日 2025年11月10日、17日、21日 (計7日間)

# 実施の流れ

## 内容

6-8月

モデル事業参加  
説明会・個別面談

- ・モデル事業に関する説明会に参加
- ・個別面談の実施



8-9月

関係者調整

- ・モデル事業実施事務局と実施方法・内容・スケジュールを相談
- ・庁内で実施に向けた調整・準備（理事者説明、検査キット購入に関する手続き、当日の流れや導線についての検討等）

9月

実施準備  
案内送付

- ・案内チラシの作成
- ・事前案内・事前アンケートの送付（2歳児歯科健診の案内に同封）
- ・関係者周知、実施マニュアルの作成、媒体作成等

10-11月

実施

- ・2歳児歯科健診に来所された保護者を対象に、簡易スクリーニングを実施
- ・結果に応じた歯科保健指導および歯科健診の受診勧奨

12-1月

効果検証

- ・実施者へ歯科健診の受診状況等について事後アンケートを実施（モデル事業実施事務局）

# 事前準備

## 工夫した点

### 検査キット



- ・所要時間約1分。即判定が可能。
- ・色調変化が3区分のため、目視による判定が容易。
- ・常温保管、使用期限3年のため、扱いやすい。

### 案内文

むし歯ゼロでも 痛みがなくても 危険！？

歯周病チェックしてますか？

今だけ実施の **歯周病リスク検査** が受けられます

**保護者の方へ**  
 <10、11月限定実施！> 2歳児歯科健診の会場で受けられます！

歯周病ってこんな病気

- 2人に1人が中等度以上の歯周病
- 初期段階では**自覚症状がない**
- 歯を失う原因 **第1位**
- **糖尿病**や**アルツハイマー型認知症**などと関連がある

みがき残した歯垢や歯石により炎症 → 歯を支える骨が溶けて歯がぐらつく

実施の流れは裏面をご確認ください

さわやかな息をキープ！

▼歯周病リスク検査の事業参加について▼  
 厚生労働省「全世代向けモデル歯科健康診査等推進事業」  
 歯科健康診査推進事務局  
 (NTTデータ経営研究所)  
 dental-support@nttdata-strategy.com  
 03-5213-4091  
 【月: 10:00-17:00 (土日祝を除く)】

▼かかりつけ歯科医院がない方は、町田市の歯科口腔健康診査をご利用ください！▼  
 町田市歯科健診

- ・「期間限定実施」であることを強調
- ・町田市の成人歯科健診のご案内を掲載

### 媒体物の作成

※大人の方対象 所要時間 約1分

**歯周病リスク検査 実施中ですよ！**

検査方法

目薬をコップに垂らす → 2~3秒待つ → 30~60秒判定

ご自身のお口の状態をチェックしてみませんか？

歯周病が悪化するって・・・

こんな症状が起きてきます！  
 ✓ 口臭が気になる  
 ✓ 歯がぐらぐらする  
 ✓ 歯茎がガタガタになる

全身にも関わっています！  
 糖尿病、心筋梗塞、脳梗塞、動脈硬化などの全身の病気にも影響することが分かってきました。

歯周病は、自覚症状がほとんどなく、気づかずに悪化することが多いです

1年に1回以上、定期的に歯科健診を受けましょう

成人が歯を失う原因の1位は歯周病 2人に1人が歯周病

その歯 15%  
 歯周病 38%  
 歯の総数 18%  
 失われ 29%

成人の半数に4mm以上の歯肉ポケットがあります  
 20代から50代、とくに女性の歯科健診の受診が少なく、またその世代から歯周病の割合が増加しています！

### パネル展示

市民向け啓発媒体の作成

従事者向け実施マニュアルの作成

### 当日の流れ (健診従事者周知用)

- ◆10、11月の期間中、2歳児歯科健診の場を活用して保護者へ歯周病リスク検査を実施します。(国のモデル事業の一環として)
- ◆アプローチが困難な就労世代に対して、歯科受診行動を促すことを目的としています。
- ◆以下、大まかな流れについてご確認ください。
- ◆なお、スクリーニング検査の希望がない方は、通常通りの流れでご対応ください。

①受付

【受付担当】アンケート回収(検査希望の有無を確認)  
 【総務担当】アンケート右上に健診番号の番号を記載  
 ※保護者2人で来所…もう一方の方もアンケートを配布  
 ※日程変更で来所…案内チラシ、アンケートを配布  
 →健診前の待ち時間へ記入してもらい、回収してください。

②幼児歯科健診

【Dr.サイド(フッ素希望なしの場合)、【フッ素担当】

アンケートを母子手帳にはさんだまま(2歳児歯科健診票は回収)、スクリーニング検査ブースをご案内する

【検査ブース】  
 健診……の部屋  
 患生……測定の部屋  
 職員……座下の裏口前

③フッ化物塗布

④歯周病リスク検査

【検査担当】  
 検査実施(サリバスター使用) → 結果の記入、説明 → 受診動員  
 ※母子手帳の返却および番号札を回収する

### 簡易スクリーニング検査実施手順

歯周病リスク検査(サリバスター)の実施手順

1. 同意の確認  
 母子手帳をお預かりし、「お口の健康確認シート」の同意欄にて確認。  
 「検査の結果とアンケート」の同意の活用、取り扱いについては同意いただいております。  
 同意 OK=文書の右欄にシムズでチェックを入れます
2. 検査の実施  
 ①紙コップを準備。  
 ②唾液を少量垂らし出し、試験紙の判定と書かれている発色部分に2~3秒浸してください。  
 ③30秒タイマーで待てる。紙コップは捨てる。  
 ④30秒後、判定。試験紙を受け取り、判定結果用紙の標準比色表と比較する。  
 ※判定結果用紙に記入できるように配座する。白紙はよく、用紙にチェックして返す。  
 【歯材】発色なし、2µg/mlの色より明らかに薄い発色の発色  
 【歯材】2µg/mlの色と同色、又は濃い発色の発色  
 (参考)歯周病リスクは1日以内の出血や歯肉内の出血によっても判定と判定される  
 ⑤判定結果用紙の結果をOにチェックして、対象者へ返却。  
 「お口の健康確認シート」の裏面下部にも結果を記入。
3. 受診動員  
 「歯周病予防には定期的な歯科健診が大切です。ぜひ歯科健診をしていただければその機会に受けたいと思います。町田市の歯科健診は500円で利用できますので、よろければ活用ください。」等ご案内し、下記のお知らせを配布。  
 【陽性の場合】歯科口腔健康診査のチラシ  
 【陽性の場合】対策「歯肉(歯肉)の健康診査のチラシ」  
 ※児童虐待のみ利用状況であることを伝える
4. 事後アンケート協力をお願い  
 「1ヵ月後に本調査の成果のNTTデータからアンケートが届きますので、必ず回答をお願いします」
5. 母子手帳の返却、番号札の回収

標準比色表

陰性	陽性(+)
0	2 10

ヘモグロビン濃度 (µg/ml)

陽性(+)の場合、歯周病などの疾患の疑いがあるため、詳しい検査を受けることをお勧めします。

B-24080A

使用方法

- 1 封筒型コップに唾液を採取する。
- 2 採取した唾液に、試験片の発色部分を2~3秒浸す。
- 3 30~60秒後、「←判定」と記載がある面の発色を標準比色表で判定する。

判定

30~60秒後判定

# 当日の流れ

受付



2歳児歯科健診の受付時、簡易スクリーニングを希望する保護者から事前アンケートを回収

2歳児歯科健診の実施



(終了後、簡易スクリーニング検査希望者のみ検査ブースへご案内)

終了後

検体採取



唾液採取→試験紙に浸す

結果返却、説明



歯科衛生士による判定および結果説明

工夫した点

◆ご案内が届いていない方でも、当日希望者全員が受けられるように対応例)

- ・日程変更で簡易スクリーニングの案内が届いていない場合
- ・両親や祖父母で来所した場合

◆希望されなかった方にも、確認を兼ねて再度検査をすすめた

→より多くの方へ実施機会を提供

◆2歳児歯科健診の場を活用

→**歯科のみ(所要時間30~40分程度)のため、保護者への負担が少ない**

◆2歳児歯科健診の待合室に、簡易スクリーニング検査の実施方法および歯周病に関する内容を掲載したパネルを掲示

→**事前説明の時間短縮、歯周病に関する知識の啓発**

◆検査結果に応じた受診勧奨

陰性：町田市の歯科健診のご案内(チラシ配布)

陽性：上記+受診票も配布

→**特にハイリスクの方へ受診行動を促す**



◆事後アンケートのご案内、協力依頼

→アンケート回収率アップのため

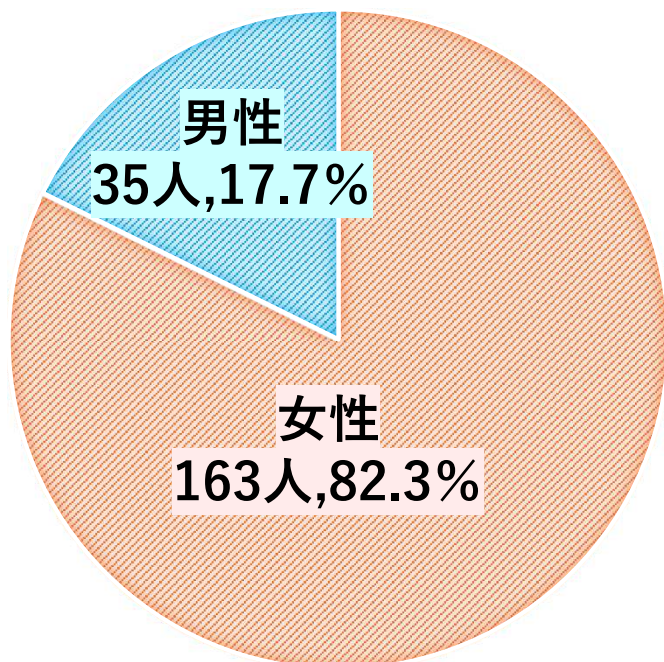
# 実施結果

2歳児歯科健診 来所者数	316人(対象者527名のうち約6割が来所)
簡易スクリーニング検査 参加者数	198人(参加率:62.7%)

- ・参加者の性別は、8割以上が女性であった。
- ・参加者の年齢構成は、30歳代が最も多かった。

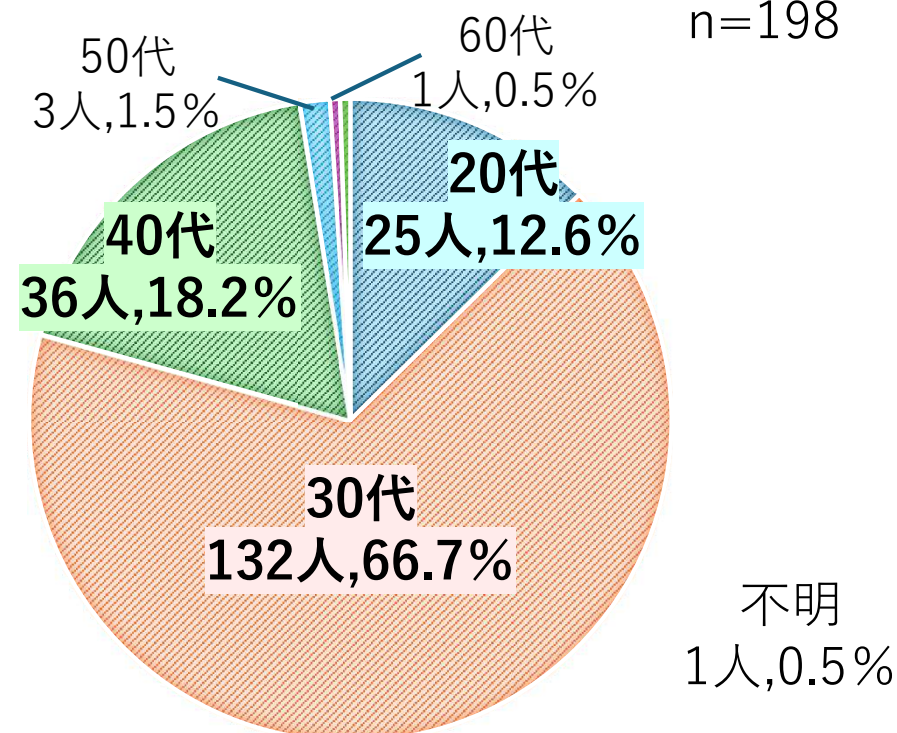
## ◆◆参加者の性別◆◆

n=198



## ◆◆参加者の年齢構成◆◆

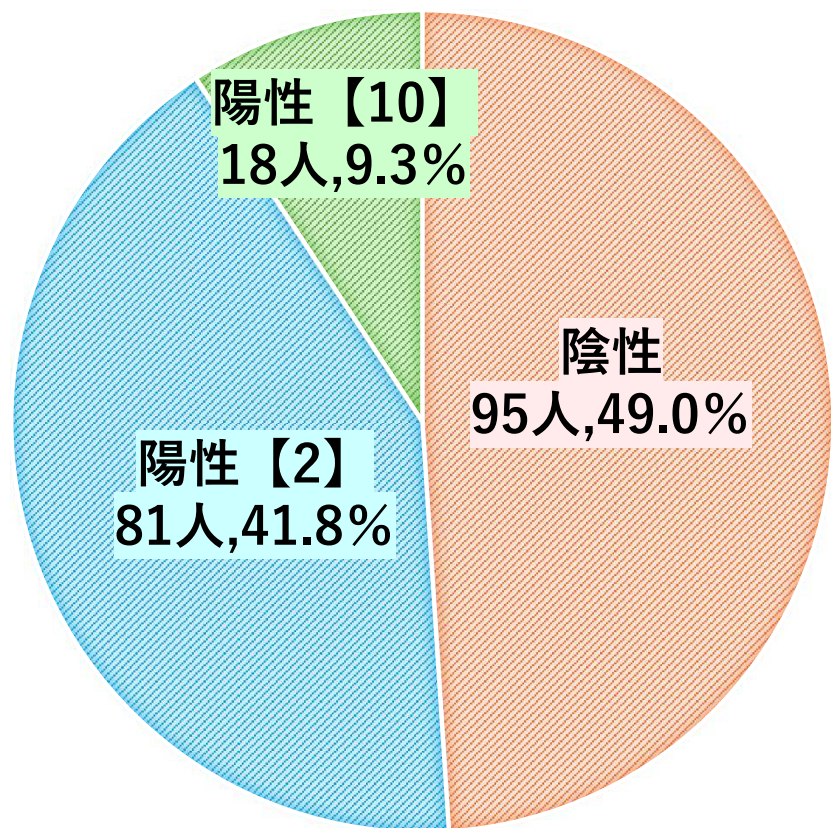
n=198



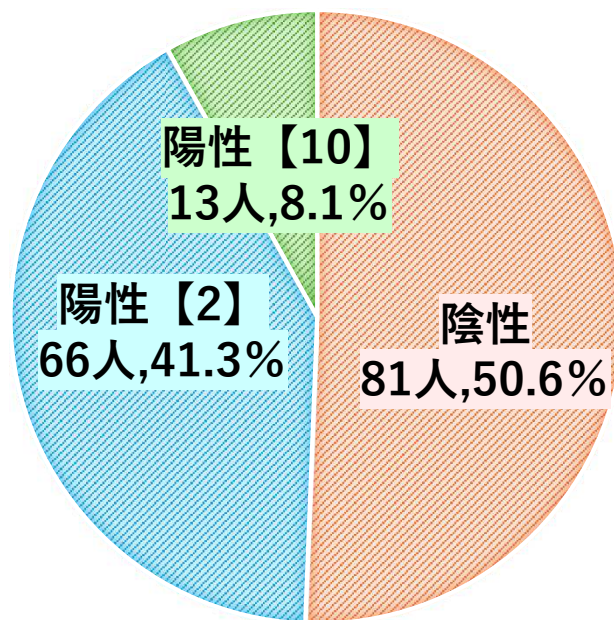
# 簡易スクリーニング検査の結果

簡易スクリーニング検査結果は、全体では51.0%の方が陽性となった。  
また男女別では、男性が58.8%、女性が49.4%と男性の方が陽性の割合が高かった。

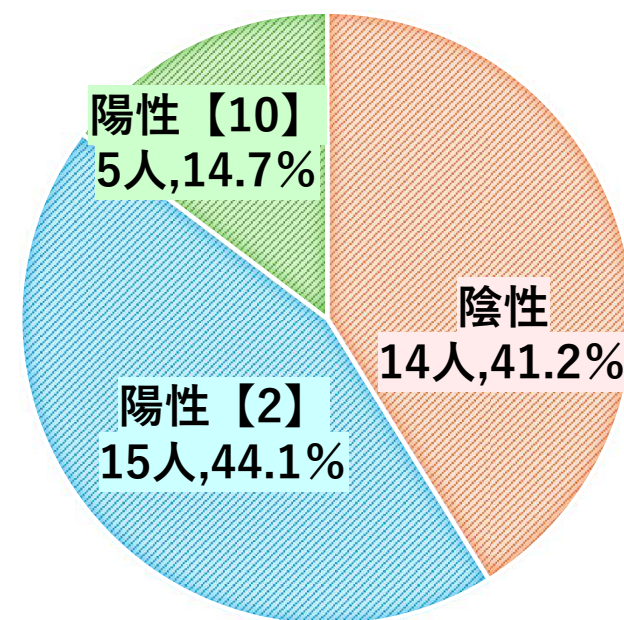
<全体> n=194



<女性> n=160



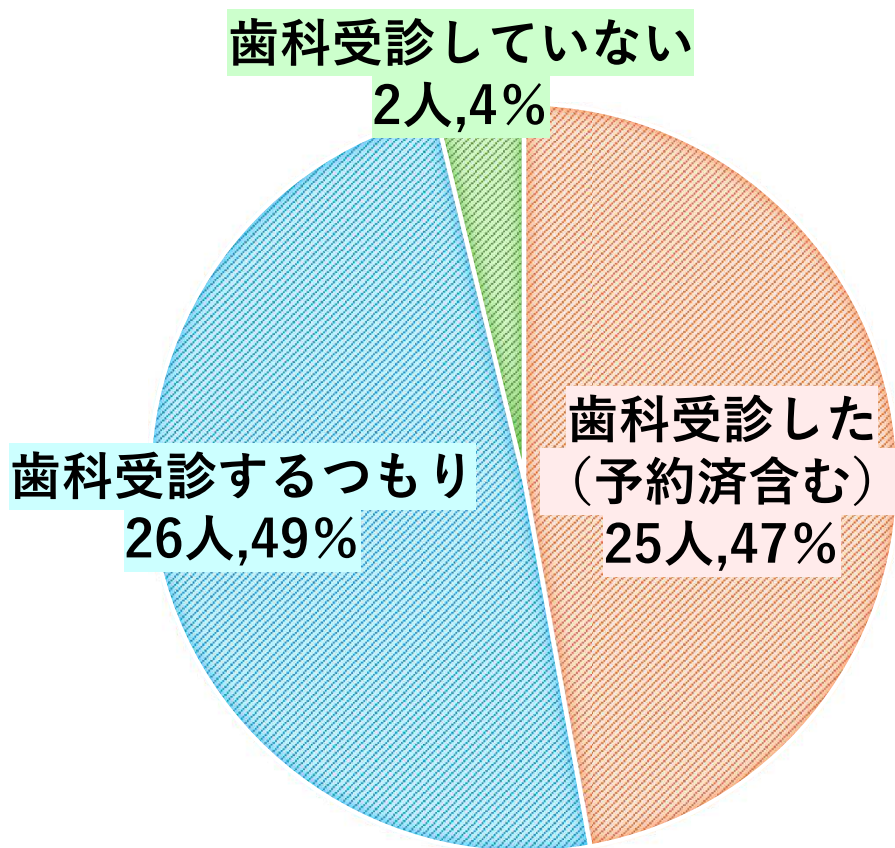
<男性> n=34



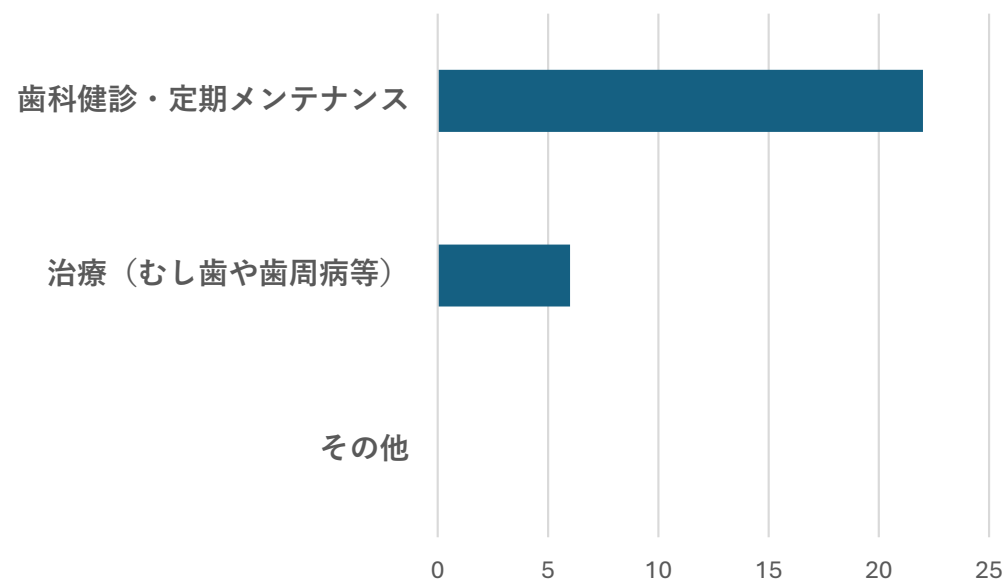
# 簡易スクリーニング検査実施後の受診状況

無回答者を除き、簡易スクリーニング検査実施後に歯科受診した方（予約済も含む）は47%、その受診目的は歯科健診・定期メンテナンスが80%であった。

## ◆◆受診状況◆◆ n=53



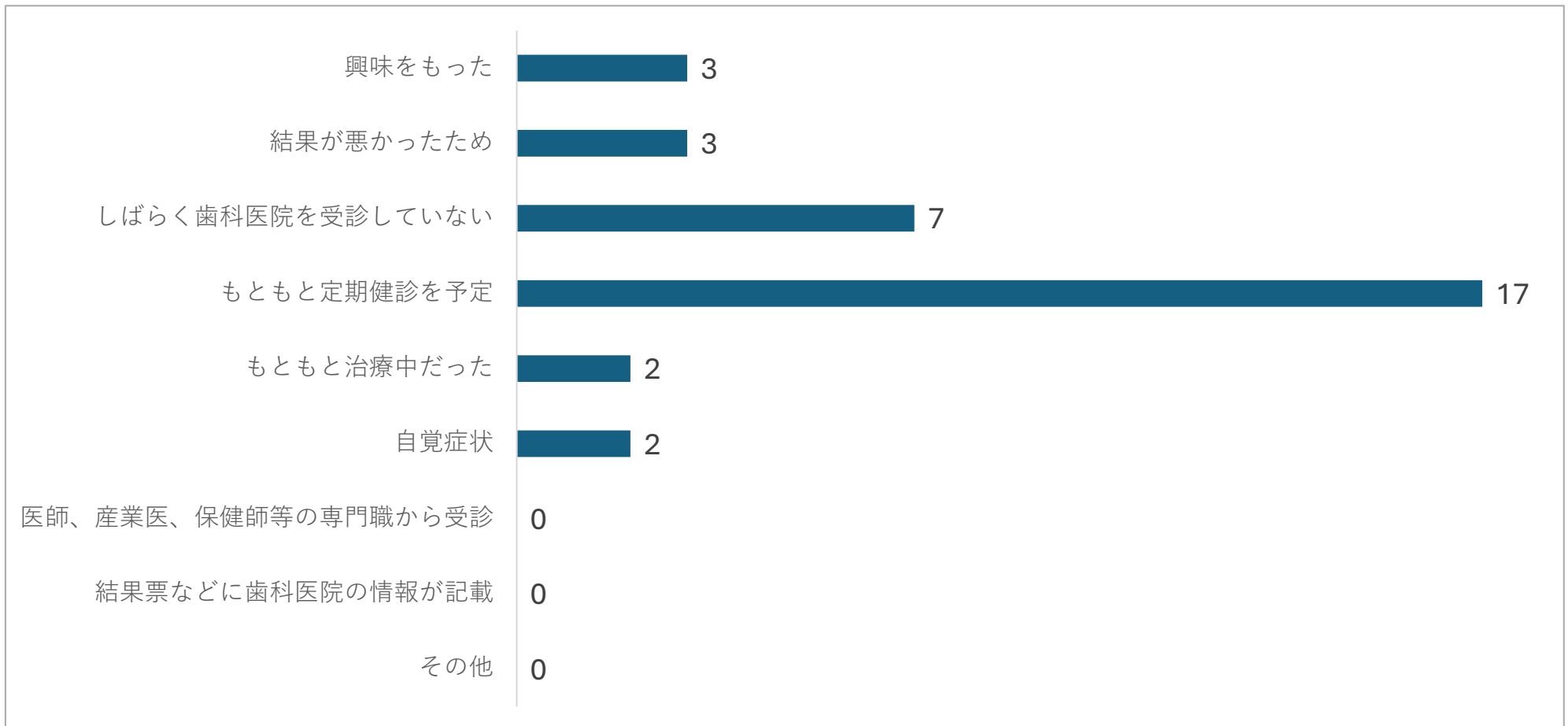
## ◆◆受診、予約した目的◆◆ n=25



# 歯科受診・予約の理由

「もともと定期健診を予定していた」と回答された方が最も多かった。  
次いで、「しばらく歯科医院を受診していない」、「興味をもった・結果が悪かったため」の  
順で回答された方が多かった。

n=25

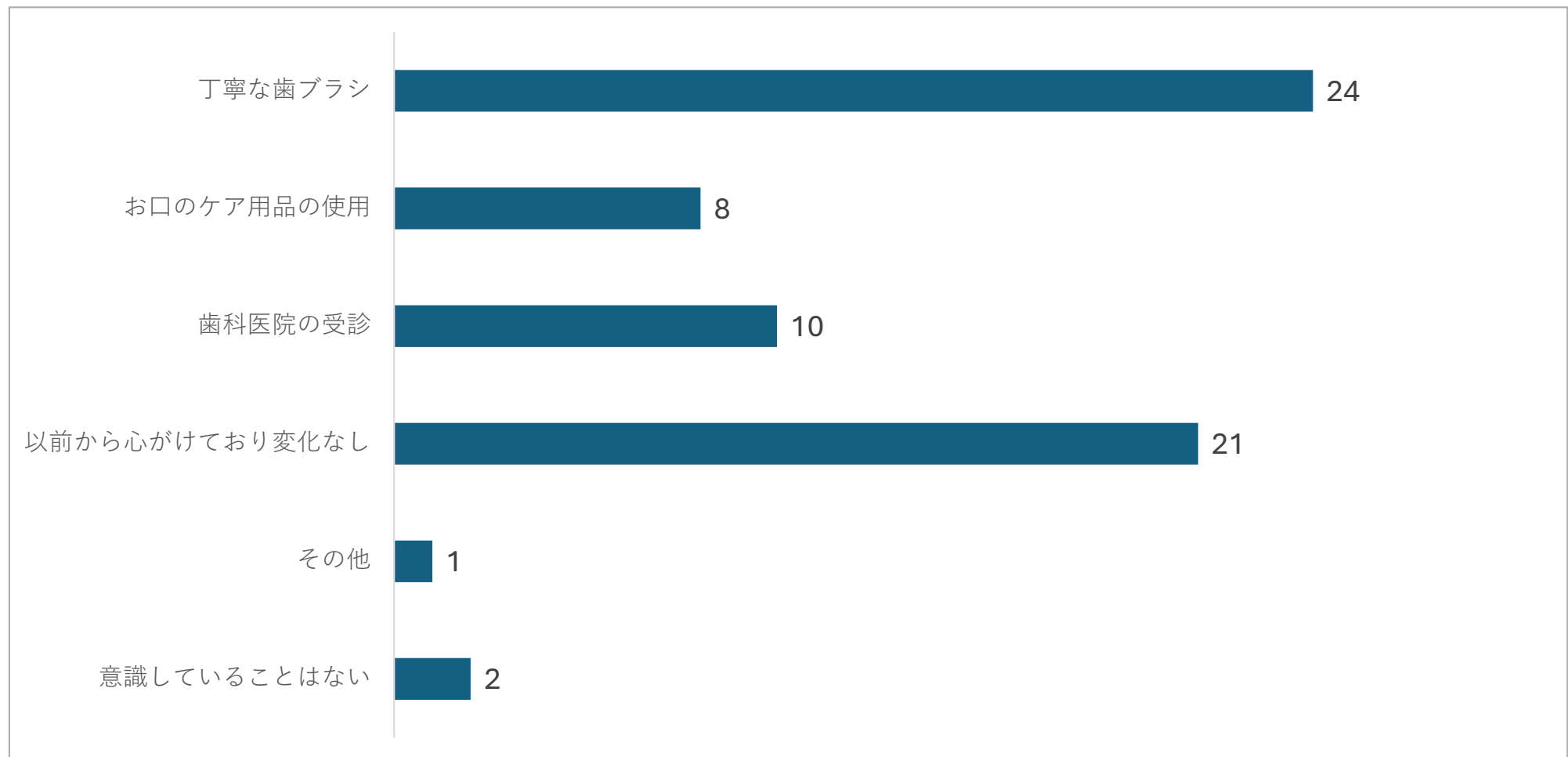


# 実施前後での変化

## — 意識するようになったこと

「丁寧な歯ブラシ」と回答された方が最も多く、次いで「以前から心がけており変化なし」と回答された方が多かった。

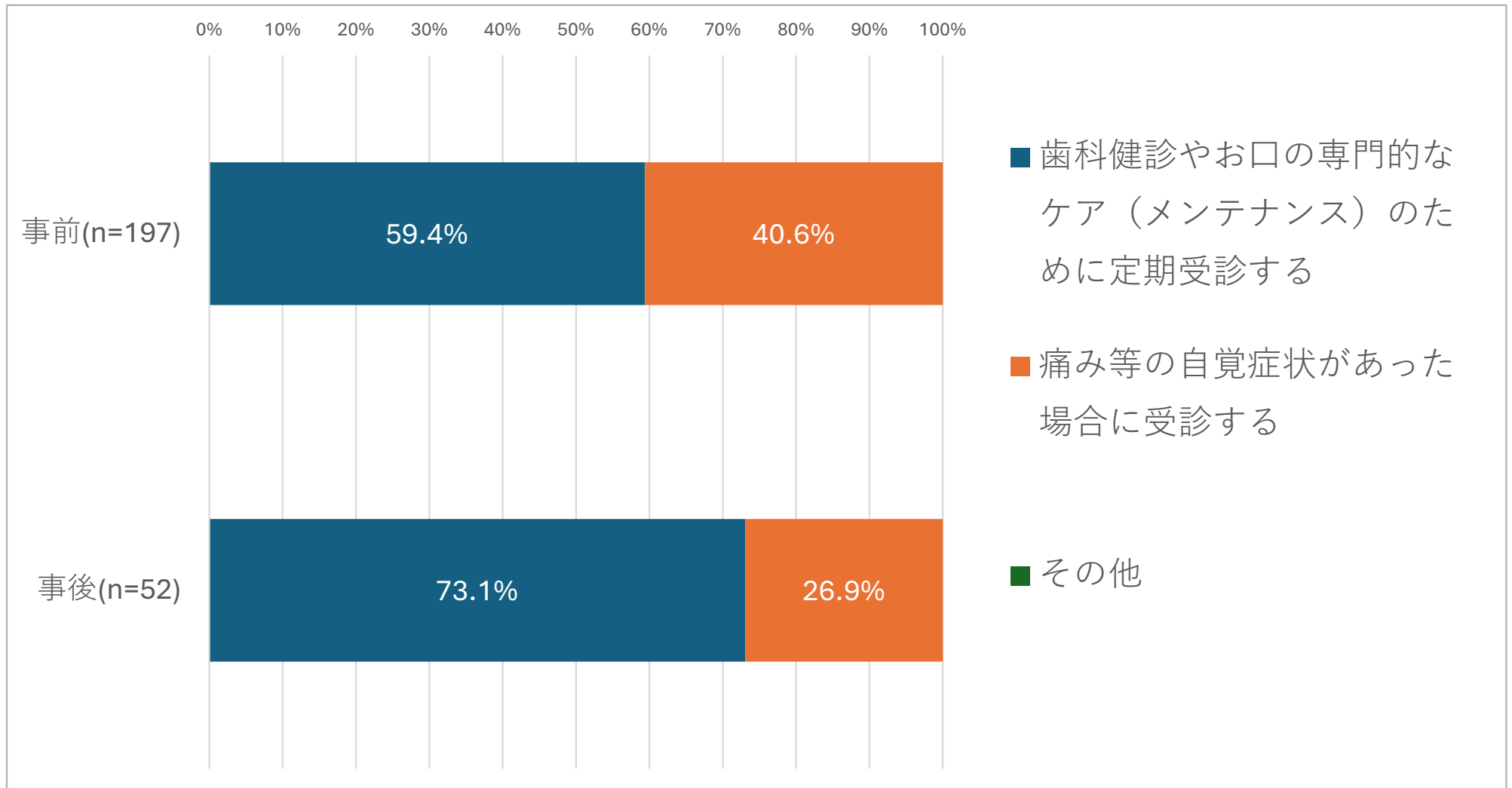
n=52



# 実施前後での変化

## — 歯科医院の認識

「あなたにとって歯科医院はどのようなときに受診する場所か」という質問に対し、「メンテナンスのために定期受診する」と回答された方が、実施前後で59.4%⇒73.1%に増えた。



# モデル事業を通しての今後の取組の検討

## 得られた成果

- ・アンケート結果より、セルフケアや歯科受診への意識・行動変容がみられた。
- ・自覚症状があった方や定期健診を後回しにされていた方から、検査を機に「受診してみようと思う」といった声も聞かれ、受診への後押しにつながったと感じている。

## 今回の実施方法に関して

### ◆既存事業（2歳児歯科健診）の活用

#### ○利点

- ・実施準備にかかる調整の負担が少なかった。
- ・普段アプローチが難しい20代～40代の年齢層に働きかけることができた。
- ・子どもの健診に来たついでということもあり、無関心層にもアプローチできた。

#### ×改善点

- ・所要時間を短くすることを優先的に考えた結果、行動変容を促す動機となるような歯科保健指導が不十分であったと考えられる。

## 課題

### ◆男性へのアプローチ

来所者の8割が女性。男性の方が陽性率が高く、男性に対してもアプローチできる手法を模索する必要がある。

### ◆事後の歯科保健指導の充実

行動変容につなげるため、歯周病に関する知識および定期的な歯科健診の必要性に関してより理解を深められるよう、実施内容を充実させる必要がある。

### ◆歯科受診へつなぐ仕組みづくり

検査後、歯科健診のご案内だけでは無関心な方ほど受診につながらないケースが多い…

## 今後の展望

検証結果を踏まえ、より効果的な実施方法について現在検討中。

・両親学級等、男性参加率が高い事業の活用

・スクリーニングツールの選定

→事前の検体採取も可能な検査ツールを選択することで、当日来所できない父親（または母親）の検査を可能とする



ご清聴  
ありがとうございます  
ございました

